

## 2022年度 藍野高等学校 学校評価

### 1 めざす学校像（教育目標）

#### 【衛生看護コース】

三年間で准看護師の資格を取得し、その後、藍野大学短期大学部第一看護学科を含む看護師養成二年課程を主とする学校への進学により、看護師の資格取得を目指す。看護・保健分野で活躍する人材に必要とされる知識、技能および倫理観を身につけ、他の医療職と協働して問題解決が図れる資質を形成する。

#### 【メディカルサイエンスコース】

将来、医療職に就業するために必要な一般教育および専門基礎教育を行う。一般教育では、学習指導要領に拠り、医療職としてはもとより、広く社会生活を円滑におくるための基盤となる知識・技能を身につける。専門基礎教育では、医療職に求められるリテラシーや科学的知識、また協働して問題解決を行える素地となる態度や行動力を培う。藍野大学医療保健学部を含む医療系四年制大学への進学を目指す。

### 2 中期的目標

#### 1 基礎基本的な学力の定着

- (1) 指導要領による教育課程の検証
- (2) 基礎力診断テスト・実力診断テスト（ベネッセ主催）の実施と考察
- (3) 個人面談の複数回実施
- (4) 長期休暇中の補習と放課後の希望者による補講の実施
- (5) 基礎教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施
- (6) 校外で実施される教員研修への参加奨励

#### 2 准看護師試験合格率 100%達成（衛生看護コース）

- (1) 准看護師試験模擬テストの複数回実施
- (2) 模擬テスト結果を参照した習熟度別グループ分けによる効果的な補習
- (3) 看護に関するレポート・小論文の作成指導の徹底
- (4) 関係医療機関との密な連携
- (5) 看護師を強く志望する意欲を持ち、学力に優れた入学生の確保

3 高大連携の取り組みに力をいれる（メディカルサイエンスコース）

- （1）医療系四年制大学進学を念頭においた授業の実施
- （2）藍野大学等との高大連携に基づく進路指導の実施

4 学習環境の整備

- （1）校舎・校地の清掃の徹底
- （2）教室・設備の充実

5 学校運営の充実と検証

- （1）生活指導体制の強化と充実
- （2）学校生活の充実を目的とした諸調査実施と検証
- （3）教職員の質の向上

2022年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.1

中期的目標	学習指導要領に基づく基礎・基本的な学力の定着	
本年度目標	基礎・基本的な学力の定着を図る	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に即しているかを点検</li> <li>・教科研修会に多く参加できたか</li> </ul>	<p><b>基礎・基本的な学力の定着を図る</b></p> <p><b>ア. 4月末までにシラバスを作成、教育課程研究協議会等の教科研修会に積極的に参加する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に即しているかを点検</li> </ul> <p>2022年度入学生からは学習指導要領が新课程となった。各教科・科目で学習指導要領の内容に即したシラバスが概ね期限内に作成できた。メディカルサイエンスコースは完成年度であり、初の大学受験であったので、進路実現に向けたシラバスを作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科研修会に多く参加できたか</li> </ul> <p>教科研修会については新型コロナウイルス感染拡大の影響で開催が中止になったものも多く、2020年度、2021年度と同様に参加件数は少ない。例年夏に実施される教育課程研究協議会は新型コロナ感染の影響もあってオンラインでの実施および参加となった。</p>
イ. 基礎力診断テスト(ベネッセ主催)を活用して生徒の学力を把握し、生徒全員の学力向上を図る ・個人面談の複数回実施 ・補習・補講の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力診断テストを活かした学習改善・面談の複数回実施</li> <li>・定期考査後の補習を充実させる</li> <li>・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える</li> </ul>	<p><b>イ. 基礎力診断テスト(ベネッセ主催)を活用して生徒の学力を把握し、生徒全員の学力向上を図る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談の複数回実施</li> <li>・補習・補講の実施</li> <li>・基礎力診断テストを活かした学習改善・面談の複数回実施</li> </ul> <p>英・数・国について、生徒の基礎学力向上を目的に基礎力診断テスト・実力診断テスト(ベネッセコーポレーション主催)を各学年、学期始めに実施した。実施前に事前学習課題を利用した学習を促したが、学年によって取り組み方が異なった。また、活用度合いは個人差が大きかった。実施後にテスト結果を活用して学習改善を行う取り組みは、組織的に行うことができなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査後の補習を充実させる</li> </ul> <p>各学期終了後の長期休暇中(春期、夏期、冬期)に成績不良者(欠点以下の生徒)に対し補習を行った。この補習をきっかけに成績が改善した生徒も見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長期休暇中の課題・補講を全教科で考える</li> </ul> <p>長期休暇中の課題の内容や分量については各担当教員に任された状態であった。一部の教員により放課後の補習は実施されているが、組織的な取り組みには至っていない。</p>
ウ. 主要教科における学力向上のためのグループ編成の研究と実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証</li> <li>・学力底上げのための教材準備</li> <li>・学習意欲の高い生徒への補助教材の準備</li> </ul>	<p><b>ウ. 英・数・国などの教科において、学力向上を意識した効果的なグループ編成を行う</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力診断テストによる学力グループ編成と検証</li> </ul> <p>基礎力診断テスト・実力診断テストの結果は、各教科・各学年において分析し、生徒の学力向上に活かせるよう努めた。2022年度については、准看対策以外の授業において習熟度別クラス編成は行わなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力底上げのための教材準備</li> </ul> <p>学習意欲の低い生徒に対する学力の底上げを意識した教材作成の取り組みを教科毎に行った。中学校で扱われている内容に関する問題も活用して教材準備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の高い生徒への補助教材の準備</li> </ul> <p>学習意欲の高い生徒に対する組織的な学習指導はほとんどできていない状況である。</p>
エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員主導型でなく、できるだけ生徒に主体的に参加をさせる</li> </ul>	<p><b>エ. 朝学習を実施し、生徒が主体的に学習に取り組めるようにする</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員主導型でなく、できるだけ生徒に主体的に参加をさせる</li> </ul> <p>朝学習は学年による取り組みとして実施した。学年によって継続的に実施している場合とそうではない場合があるので、効果的に学力向上が望める取り組みを組織的に行う必要がある。また、新たな取り組みとして、外部業者(トモノカイ)に週3日放課後の時間帯、大学生を3~4名派遣してもらって、生徒が自由に質問できるようにした。</p>

オ. 看護教科学習の研究を行う	・看護教育研究委員会の活動や研究を活発に行う	<p><b>オ. 看護教育研究委員会を立ち上げる</b></p> <p><b>・看護教員の連携を深める</b></p> <p>2022年度は第53回全国看護高等学校研究協議大会が7月に大阪で開催され、事務局校として看護、看護以外を問わず教員が参加し、看護教育の現状を知る機会をもてた。特に看護教員については大会運営の中心的役割を担った。</p>
-----------------	------------------------	--

## 2022年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.2

中期的目標	准看護師資格試験合格率 100%連続達成 (衛生看護コース)	
本年度目標	准看護師資格試験合格率 100%達成 (衛生看護コース)	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
ア 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通して計画的な受験対策を行う	<p>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身につけさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>2年 自己学習力の強化を図り、復習を徹底し、看護専門科目正解率 60%以上を目指す</p> <p>3年 弱点克服学習を集中的に行い、准看護師試験全員合格を目指す</p>	<p><b>准看護師資格試験合格率 100%達成</b></p> <p><b>ア. 准看護師資格試験模擬テストの複数回実施も含め、3年間を通して計画的な受験対策を行う</b></p> <p><b>1年 看護に興味を持たせ、学習習慣を身につけさせ、基礎看護科目正解率 60%以上を目指す</b></p> <p>低学年を対象とした准看護模試を年1回(2月)、2年生と同一問題で実施し、分析結果をその後の学習計画に反映させた。また、看護以外の教科も含めた全ての教科において看護に関連する分野への関心を持たせることができるよう努めた。</p> <p><b>2年 自己学習力の強化を図り、復習を徹底し、看護専門科目の正解率 60%以上を目指す</b></p> <p>低学年を対象とした准看護模試を1回(2月)、1年生と同一問題で実施し、分析結果を次年度の模試実施計画に反映させた。また、看護以外の教科も含めた全教科において看護に関連する分野への関心を持たせることができるよう努めた。</p> <p><b>3年 弱点克服学習を集中的に行い、准看護師試験全員合格を目指す</b></p> <p>3年生については、准看護模試を年13回実施した。実施後は模試結果によりグループ分けを行い、各グループ別に解説講義を本番直前まで行った。また、学習到達度の低い生徒に対しては、関西広域連合(大阪府)以外の他府県の准看護試験も併せて受験(複数受験)するよう指導した。関西広域連合・他府県の准看護試験において、最終的に87名全員合格という結果であった。</p>
イ 模擬テスト結果による習熟度別グループに分けての効果的な補習	<p>・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位層が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか</p> <p>・准看護師資格試験において、80%以上得点できる生徒が1/3を超えられるか</p>	<p><b>イ. 模擬テスト結果を活用した習熟度別グループ分けによる補習の実施</b></p> <p><b>・長期休暇前の模試でグループ分けを行った下位層が安全圏に近いところまで学力を伸ばせたか</b></p> <p>模試結果により習熟度別にグループを分け、グループ別に対策授業や放課後の補習を行った。准看護師資格試験(関西広域連合主催)の自己採点結果では80%(240点)以上得点できた生徒が87名中42名で48.3%(前年度は104名中27名で26.0%)という結果であった。</p>
ウ 看護実習の内容を充実させるため、関係医療機関と連携する	<p>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</p>	<p><b>ウ 看護実習の内容を充実させるため、関係医療機関と連携する</b></p> <p><b>・関係医療機関に迷惑をかけることがなかったか</b></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響によって保育所以外の臨地実習が不可となり、代替の校内実習を行った。</p>

<p>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</p>	<p>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートであったか</p>	<p><b>エ 看護に関するレポートおよび小論文の書き方指導の徹底</b>  <b>・関係医療機関の指導者に満足してもらえるレポートだったが</b>          生徒のコミュニケーション力を育成する目的で始めた「表現力養成講座」を各学年の授業に取り入れて8年目になるが、国語の授業時間内で実施しているため、授業時間が十分に確保できていない点やクラス担任との連携が不十分な点など、課題も多い。学校全体で組織的に取り組めるような体制づくりが必要である。</p>
<p>オ 看護師を強く志望する学力の高い生徒の確保</p>	<p>・オープンスクールなどの募集関連の行事への参加者数や入学試験の受験者数はどうであったか</p>	<p><b>オ 看護師を強く志望する学力の高い生徒の確保</b>  <b>・オープンスクールなどの募集関連の行事への参加者数や入学試験の受験者数はどうであったか</b>          オープンスクール等の募集行事において、「准看護師資格」取得が可能な学校である点を全面に出してPRすることを心がけた。新型コロナウイルス感染対策のこともあり、募集関係行事の実施には色々と苦慮した面はあったが、2023年度入試については受験者数140名（前年度172名）、入学者数120名（前年度150名）という結果であった。募集定員の確保はできたものの、前年と比較して、受験者数、入学者数とも約2割減となった。</p>

2022年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.3

<p>中期的目標</p>	<p>高大連携の取り組みに力をいれる（メディカルサイエンスコース）</p>	
<p>本年度目標</p>	<p>医療系四年制大学進学を目指した授業展開と進路指導の実施（メディカルサイエンスコース）</p>	
<p>具体的な取組計画・内容</p>	<p>評価指標</p>	<p>自己評価・今後の改善方策</p>
<p>ア 医療系四年制大学進学を念頭においた授業の実施</p>	<p>・大学受験対策を念頭においた授業展開ができたか</p>	<p><b>医療系四年制大学進学を目指した授業展開と進路指導の実施</b>  <b>ア 医療系四年制大学進学を念頭においた授業の実施</b>  <b>・大学受験対策を念頭においた授業展開ができたか</b>          各教科とも大学受験を念頭においた授業展開を行うことができた。生徒の学力差が大きい数学や英語などの教科については放課後に補習も実施した。</p>
<p>イ 藍野大学等との高大連携に基づく進路指導の実施</p>	<p>・「総合的な探究の時間」を活用した進路決定の取り組みができたか           ・進路情報の提供が可能な環境づくりができたか</p>	<p><b>イ 藍野大学等との高大連携に基づく進路指導の実施</b>  <b>・「総合的な探究の時間」を活用した進路決定の取り組みができたか</b>          藍野大学との連携により、大学教員による講義や演習も実施され、大学での学習内容に生徒はふれることができた。2年次に実施が予定されている授業「キャリア探求」で具体的な進路決定ができるよう、生徒に「好奇心をもたせる」ことに努めた。また、3年次には藍野大学各学科（看護、理学療法、作業療法、臨床工学）の授業を大学生と一緒に聴講する機会をもった。   <b>・進路情報の提供が可能な環境づくりができたか</b>          進路に関する情報誌などを生徒に配布し、情報提供を行った。また、ホームルームの時間を活用し、担任が模試結果についての説明を行うことで、生徒の進路への関心を高めるよう努めた。卒業生3名のうち、4年制大学が2名（理学療法学科1名、臨床工学科1名）、医療系専門学校に1名（診療放射線技師学科）が進学した。</p>

2022年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.4

中期的目標	学習環境の整備	
本年度目標	安全で快適な学習環境の整備を行う	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
<p>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</p> <p>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</p> <p>ウ 教室・設備の迅速な改修を行う</p> <p>エ 計画的に教室・設備の整備を行う</p>	<p>・1年生を中心に清掃区域を担当し、全教職員での指導を徹底できたか</p> <p>・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか</p> <p>・教室や設備の不備を早く見出し、関係部署に連絡を確実に行えたか</p> <p>・生徒に施設や設備保全のための指導を行えたか</p> <p>・教室や設備の具体的な整備計画を検討する</p> <p>・中長期計画の中に不足設備についての解決策の取り組みについて盛り込む</p>	<p>安全で快適な学習環境の整備を行う</p> <p><b>ア 校舎・校舎周りの清掃を徹底する</b></p> <p>・1年生を中心に清掃区域を担当し、全教職員での指導を徹底できたか</p> <p>終礼終了後、1年生を中心に各教室、トイレ、体育館などの清掃区域について一斉清掃を年間を通して行った。また、各学期終業式の前に、全学年で分担して校舎内（校舎周りを含む）の大掃除を実施した。</p> <p><b>イ 所持品の管理・防犯のために生徒個人用ロッカーを有効活用する</b></p> <p>・防犯の面からもロッカーの使用法についての指導が徹底できたか</p> <p>盗難防止のため、個人用ロッカーの施錠を徹底するよう生徒に指導した。ロッカー施錠に対する意識が低い生徒も存在するため、定期的に注意喚起を行った。防犯カメラを各教室に設置したことにより、教室内の状況について常時確認することが可能になり、盗難などの被害もほとんどなくなった。</p> <p><b>ウ 教室・設備の迅速な改修を行う</b></p> <p>・教室や設備の不備を早く見出し、関係部署に連絡を確実に行えたか</p> <p>校舎内の巡回や定期的な確認を行うことにより、設備の不備箇所の早期発見に努めた。老朽化が進む校舎であり、安全面で問題が生じないよう注意を払った。</p> <p>・生徒に施設や設備保全のための指導を行えたか</p> <p>設備保全のための生徒への指導は十分に行えていない。ホームルームなどの時間を活用し、必要な指導を行っていく必要がある。</p> <p><b>エ 計画的に教室・設備の整備を行う</b></p> <p>・教室や設備の具体的な整備計画を検討する</p> <p>長年の懸案事項であった「女子トイレ」増設については、具体的な計画案作成に至り、増設工事が実施された。また、1年生（16期生）が4クラス編成となったため、講堂を改修して教室とした。</p> <p>・中長期計画の中に不足設備についての解決策の取り組みについて盛り込む</p> <p>2024年4月には明浄学院との統合が予定され、大阪市阿倍野区文の里の新校舎へ移転予定である。移転までの期間については、教室数不足の問題は大学の教室借用、女子寮や旧男子寮（誠和寮）の有効活用なども含めて対応したい。</p>

2022年度 藍野高等学校 教育目標 自己評価 NO.5

中期的目標	学校運営の充実と検証	
本年度目標	生活指導の充実と学校生活充実のための調査・検証	
具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価・今後の改善方策
ア 挨拶の習慣化をはかる	・実習時だけではなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか	<p><b>基本的な生活習慣の確立と自主性・主体性の伸長</b></p> <p><b>ア 挨拶の習慣化をはかる</b></p> <p>・実習時だけではなく、普段の学校生活でも挨拶ができたか</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、生徒会による「あいさつ運動」などを積極的に行うことができなかった。生徒が自主的に挨拶を行えるよう指導を強化する必要がある。</p>
イ 遅刻・早退・欠席をなくするための意識づけを行うとともに、家庭連絡を密に行う	・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか	<p><b>イ 遅刻・早退・欠席をなくするための意識づけを行うとともに、家庭連絡を密に行う</b></p> <p>・前年度に比べて遅刻者数が減少しているか</p> <p>遅刻数が極端に多い一部の生徒に対しては、保護者への電話連絡や保護者面談などによる指導を行った。遅刻者に対する入室許可証の発行は徹底できたが、JRの遅延証明書がホームページからの発行となったことにより、遅延確認に伴う教員の対応に手間がかかるようになった。</p>
	・バス遅延も見越しての早朝登校ができていますか	<p>・バスの遅延も見越して早朝登校ができていますか</p> <p>雨天時のバス遅延による遅刻者は前年同様に多い。</p>
	・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか	<p>・5分前行動が生徒だけでなく教職員もできているか</p> <p>教員の5分前行動については以前より改善されてきてはいるものの、まだまだ十分といえる状況ではない。各教職員が自覚をもって改善に取り組んでいきたい。</p>
ウ 校内外の研修会を通して、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う	・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか	<p><b>ウ 校内外の研修会を通して、共通理解をもとに教職員が全員で生活指導を行う</b></p> <p>・職員会議等の機会を利用して教職員の共通理解が図れたか</p> <p>例年のことではあるが、学年や教員によって指導内容に差が出てしまい、それが生徒や保護者の不満に結びつくという状況が見受けられた。指導内容についての校内研修を定期的実施するとともに、職員会議などの場で共通理解を図っていく必要がある。</p>
エ 学校生活の充実を目的とした調査の実施・検証	・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る	<p><b>エ 学校生活の充実を目的とした調査の実施・検証</b></p> <p>・生徒ならびに保護者・教職員へのアンケートを実施し、学校生活の向上を図る</p> <p>例年、定期的に生徒を対象とした「学校生活アンケート」を実施し、いじめ問題等も含めた状況把握に努めているが、2022年度については1回しか実施できなかった。いじめ問題の早期発見・対応など学校生活の向上を図るために必要なアンケートであるため、少なくとも各学期1回、年に2～3回は実施したい。</p>
オ 教職員研修の充実	・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る	<p><b>オ 教職員研修の充実</b></p> <p>・予算範囲内で可能な限り、校外での研修会への参加を図る</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、校外研修会については中止になったものも多く、例年に比べると参加数は少なかった。「分掌」や「教科」に関係するものを含め、校外での研修会を有効に活用できていないといえない。また、校内における新任教員に対する研修についてもほとんど実施できていない。</p>
	・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める	<p>・看護教育研究委員会を立ち上げ、研究を進める</p> <p>校内での看護教育推進を目的として立ち上げた「看護教育研究委員会」については、十分に機能していない。本校教育課程において重要な部分となる「看護教育」充実のため、組織的・計画的に研究を進めていく必要がある。なお、2022年7月に第53回全国看護高等学校研究協議大会（大阪大会）が開催され、本校が事務局校として大会の運営を行った。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2023年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p><b>保護者アンケート全般について</b></p> <p>2014年度以降、毎年6月に保護者に対して同一設問でアンケートを実施し、その結果を分析している。新学期が始まって間もない時期のため、保護者には前年度の状況も含めて評価してもらうよう依頼した。</p> <p>最近5年間における3学年全体での回収率は、19年度77.9%、20年度80.4%、21年度80.8%、22年度83.2%、23年度78.8%で、8割前後となっている。また、最近5年間の各学年の回収率の推移は下記の通りで、1年生は新鮮味もあるのか比較的高く、学年が上がるにつれ低くなる傾向が見られる。ただ、回収は担任が中心になって行うため担任の取り組み方にも大きく左右されると考えられる。</p> <p>1年保護者 78.9%→90.2%→99.2%→82.1%→81.5%                      2年保護者 78.4%→58.5%→81.3%→99.2%→57.3%                      3年保護者 75.6%→91.1%→56.7%→62.6%→100%</p> <p><b>「分析」</b></p> <p>「施設・設備面」の項目については、例年同様、他と比較して否定的な回答が多く、学年が上がるに伴い、施設・設備面での改善が進まない状況に不満を持っている保護者が多いことがうかがえた。なお、2022年度についても新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月に予定されていた1年生の宿泊研修や9月に予定されていた2年生の修学旅行が中止または延期となった。2020年度、2021年度同様これらが生徒の学校生活に及ぼした影響は大きいと考えられる。</p> <p><b>Ⅰ 特色や方針の明確化について</b></p> <p><b>Q1 藍野高等学校からの各種案内文書・ホームページ・保護者会等の機会において、学校の特色や方針を明確に示すことができていると思いますか?</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>数値は%、( )内は昨年度                          肯定の数値：評価する+ある程度評価する（以下同様）</p> </div> <p>3年 肯定 32+43 (20+53) やや否定 7(16) 否定 6(2)                      2年 肯定 24+64 (37+46) やや否定 5(8) 否定 1(3)                      1年 肯定 46+43 (37+40) やや否定 1(9) 否定 0(2)</p> <p><b>「分析Ⅰ」</b></p> <p>本校の特色や教育方針については、保護者・中学生に対しオープンスクール等で十分な説明を行うよう心がけ、ホームページ内容の充実に加え、YouTubeなどによるPRにも努めた。「十分ではない」と考える保護者が1割近くいるため、行事等の広報をさらにわかりやすく、かつ丁寧に行っていくよう努めたい。</p>	<p><b>「全般について」</b></p> <p><b>A氏より</b></p> <p>全体的に特に変わった傾向はみられないように思います。新型コロナによる学校行事等への影響、満足度も落ち着いてきているように見受けられます。施設・設備面での問題点は毎年のことですが、Q7の「学校は生徒の悩みや問題に対して適切に対応できていると思いますか？」に対して否定的な回答が例年に比べ多いのが目につきます。</p> <p><b>C氏より</b></p> <p>新型コロナウイルス感染拡大の影響が生徒の学校生活に及ぼした影響は大きいですが、最近はその終息により学校内でのイベントなども増えてきているように感じます。生徒たちは素直なやさしい女子が多く、男子もしっかりと挨拶をしてくれます。</p> <p><b>「特色や方針の明確化について」</b></p> <p><b>A氏より</b></p> <p>衛生看護科という専門高校であるので、学校の特色や方針はそもそも明確であることを考えると、意外に「評価できる」の回答率が低いように思われます。中学生や保護者が何を知りたいのかを面談等で聞き出して、HP等で説明を加える必要があるのかもしれません。HPの画面イメージ、説明内容が他校と比べやや地味でおとなしく、インパクトに欠けるようにも思います。</p> <p><b>B氏より</b></p> <p>昨今の中学生・保護者はネットで高校の情報を収集していることが多く、その充実が生徒募集に欠かせないと思います。</p> <p><b>C氏より</b></p> <p>在学中の生徒や卒業生の活躍を発表できるような場が必要だと思います。学校新聞で写真入りの記事などを掲載して頑張っている姿が見えるようにしてもよいのではないのでしょうか。また、先輩から後輩にアドバイスできるような場もあってよいと思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2023年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p><b>II 危機管理や安全対策について</b></p> <p>Q2 学校は危機管理や安全対策に努めていると思いますか?(生徒への危機管理教育・安全指導・学校全体のセキュリティについて)</p> <p style="text-align: right;">数値は%、( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 35+41(20+40) やや否定 6(15) 否定 6(7)                      2年 肯定 29+46(31+45) やや否定 9(7) 否定 6(3)                      1年 肯定 44+36(26+40) やや否定 5(5) 否定 0(3)</p> <p>「分析 II」</p> <p>学校の危機管理や安全対策について不安に感じている保護者が1割近く存在する。特に2、3年生の保護者においては、1~2割が「不安に感じている」と回答している。教職員のアンケートでも、耐震対策を含めた施設・設備面での充実の必要性に加え、学校自体のセキュリティ面での不備や生徒への危機管理教育の必要性を指摘する意見が多かった。避難訓練などの際に生徒に安全指導を行うことはあるが、年間を通じ計画的に危機管理教育を行えているとはいえないため、組織的な取り組みが今後は必要になる。</p> <p>本校においては女子寮が併設されているため、寮における火災や地震の際の避難計画なども具体的に策定しておく必要がある。</p> <p><b>III 教職員の対応</b></p> <p>Q3 学校に電話をかけられたとき、あるいは来校されたときに、教職員の対応は適切であると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、( )内は昨年度</p> <p>3年肯定 57+28(66+25) やや否定 8(7) 否定 3(0)                      2年肯定 68+26(64+29) やや否定 3(5) 否定 3(1)                      1年肯定 68+24(69+26) やや否定 3(2) 否定 1(1)</p> <p>「分析 III」</p> <p>保護者アンケートでの教職員の電話や来校時の対応については肯定的な回答が大半を占め、評価は高い。教職員のアンケートにおいても、全員が肯定的な回答をしており、否定的な回答はなかった。今後も保護者や生徒および外部から問い合わせ等に対しては、引き続き丁寧な対応に努めていきたい。</p>	<p>「危機管理や安全対策について」</p> <p>A氏より</p> <p>教職員へのアンケート結果からも危機管理や安全対策の強化の必要性は共有されているようです。年間を通じた危機管理教育の実施は実際上なかなか難しいと思いますが、薬物、SNSなどによる被害、対策については、最新の動向を踏まえて実施していただきたいと思います。</p> <p>B氏より</p> <p>生徒が過ごす学校環境を考えると同時に先生方が過ごす環境を考えると、電気のつかないトイレ、蚊取り線香を使用しないといけない職員室など、厳しいものがあります。このような環境下でも生徒のために尽力される先生方に頭が下がります。</p> <p>C氏より</p> <p>年に2~3回は避難訓練、不審者対応訓練を実施してほしいと思います。</p> <p>「教職員の対応について」</p> <p>A氏より</p> <p>アンケートの数字に表れているように、しっかりと対応されていると思います。</p> <p>B氏より</p> <p>藍野高校の先生方は丁寧な対応をしてくださっていると思います。</p> <p>C氏より</p> <p>丁寧な対応をされていると思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2023年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p><b>IV 施設・設備等の教育環境の充実について</b></p> <p><b>Q4</b> 学校は、施設・設備等の教育環境の充実に努めていると思いますか？ 数値は%、( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 25+41(12+44) やや否定 17(22) 否定 9(11)  2年 肯定 25+43(30+40) やや否定 15(16) 否定 9(6)  1年 肯定 31+49(31+37) やや否定 4(13) 否定 3(7)</p> <p>「分析 IV」</p> <p>否定的な意見の割合が高い項目の1つである。1学年3～4クラス編成では、予備教室がほとんど無く、施設・設備の不十分さは際立ってきている。大学の教室や女子寮の空き部屋を借りるなど、応急的に対応しているのが実情である。2024年4月には明浄学院高校との統合が予定され、大阪市阿倍野区に新校舎を建築して移転する計画も進んでいる。一方で、音楽室、理科実験室、調理実習室、情報処理室など現状で校舎内に設置できていない施設・設備についても、教育環境の充実という点から考えると必要不可欠なものであるため、法人本部の協力も得ながら改善を図っていききたい。</p> <p><b>V 保護者との連携や情報発信について</b></p> <p><b>Q5</b> 学校は、保護者との連携や情報発信に努めていると思いますか？ 数値は%、( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 35+42(32+36) やや否定 10(23) 否定 6(7)  2年 肯定 29+43(36+46) やや否定 15(9) 否定 3(4)  1年 肯定 41+41(27+49) やや否定 7(11) 否定 1(4)</p> <p>「分析 V」</p> <p>2016年度からフェアキャスト(学校連絡網サービス)を導入したことにより、保護者・生徒への緊急時の連絡を短時間で確実にできるようになっている。また、生徒に対しては新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校を契機としてGoogle Classroomを用いた課題配信なども2021年度以降行っている。</p> <p>アンケートでは保護者、教職員ともに約8割が肯定的な回答であった。一方で、学校内のことをもっと詳しく知りたいという保護者の声も多いため、学年通信や学級通信などの発行回数を増やすなど、家庭への情報発信の機会を増やし保護者との連携を深めるよう努力したい。</p> <p>また、地域との連携については教職員の約5割が「取り組みが不十分」という回答であった。地域との連携や情報発信についても、今後は積極的に進めていきたい。</p>	<p>「施設・設備等の教育環境の充実について」</p> <p><b>A氏より</b></p> <p>いろいろとやりくりされており、物理的な制約はいかんともしがたいと思われるので、特に申し上げることはありません。</p> <p><b>B氏より</b></p> <p>明浄学院高校との統合の話が出る前から施設の整備の要望は出ていたと思います。改善がみられなかった点は残念に思います。</p> <p><b>C氏より</b></p> <p>図書の貸し出し(機械化)がスムーズにできるシステムを作ってほしいと思います。施設、設備面では明浄学院と統合後の新校舎に期待しています。</p> <p>「保護者との連携や情報発信について」</p> <p><b>A氏より</b></p> <p>保護者の回答からは特に問題はなさそうですが、教職員からは不十分との声が上がっています。具体的にどのあたりに問題があるのか、改善行動について教職員の意見を吸い上げて、できるところから実施されてはどうでしょうか？</p> <p><b>B氏より</b></p> <p>フェアキャストで情報が入る点は助かります。学校の様子(例えば、今は実習中である、文化祭の準備をしている等)についての発信があれば、学校への愛着がさらに増すと思います。</p> <p><b>C氏より</b></p> <p>フェアキャストは生徒・保護者への緊急時の連絡に有効だと思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2023年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p><b>VI 授業の工夫について</b></p> <p>Q6 授業の内容や指導方法に、工夫がなされていると思いますか? 数値は%, ( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 25+38(22+46) やや否定 10(8) 否定 4(4)  2年 肯定 16+52(28+41) やや否定 13(8) 否定 6(3)  1年 肯定 37+43(27+44) やや否定 2(8) 否定 1(2)</p> <p>「分析 VI」  教職員のアンケートでは、9割近くの教員が授業内容や教材、指導方法に工夫をしていると回答していたが、半数は組織的な取り組みが出来ていないと回答していた。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴う休校等の関係で、2020年度、2021年度は授業アンケートを実施できなかったが、2022年度はマークシート形式の授業アンケートを実施し、その結果を各教員にフィードバックすることで授業改善の参考としてもらった。授業内容や指導方法の改善に「生徒の声」は欠かすことができないため、この取り組みは今後も継続していきたい。また、本校教員による定期的な研究授業の実施や保護者を対象とした授業参観の機会を設けるなど、教員のスキルアップを目的とした組織的な取り組みにも力を入れていきたい。</p> <p><b>VII 生徒の悩みや問題について</b></p> <p>Q7. 学校は生徒の悩みや問題に対して適切に対応できていると思いますか? 数値は%, ( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 23+40(34+34) やや否定 10(12) 否定 13(3)  2年 肯定 27+35(30+37) やや否定 15(7) 否定 8(4)  1年 肯定 32+29(23+33) やや否定 7(7) 否定 2(2)</p> <p>「分析 VII」  教職員のアンケートでは全員が肯定的な回答をしている。保護者アンケートでは6割近くの保護者が肯定的な回答をしているが、否定的な意見が2割近くみられる。本校の大半の教員は、日頃から生徒の体調や出席状況の把握に努め、こまめな声掛けや面談も積極的に行い、保護者との連絡も密にするよう心がけている。例年、生徒を対象に実施している「学校生活アンケート」などの結果も参考にした上で、「いじめ」を含む生徒間のトラブルには日頃から注意を払い、問題が発生した場合には、組織的かつ迅速な対応ができるような体制づくりを心がけたい。また、各自治体の児童相談所などからの家庭内での虐待に関する問い合わせ等も年々増加してきている。各自治体とも連携をとりながら生徒の状況把握に努めていきたい。</p>	<p>「授業の工夫について」</p> <p>A氏より  保護者の回答ももう少し高くあってほしいし、教職員からも対応が不十分であることが窺えます。ただ難しいのは、教科内容、個々の教員によって意識を含めてかなりの違いがあると思われる、全体として対策を論じることがあまり意味をなさないことでしょう。授業アンケート、授業参観から問題のある教科や指導法に対し、個別に対応するのがいいのですが、実際はなかなか難しいと思われます。逆に、評価の高い教員の取組を表彰することも重要で、実行はしやすいと思います。</p> <p>B氏より  個々の先生で努力し、工夫されてはいますが、研究授業などを通してそのスキルを互いに学ぶ機会が必要だと思います。</p> <p>C氏より  音楽などは新曲を生徒が楽しく合唱している様子が聞こえてくるので、集中して授業を受けていることがわかります。</p> <p>「生徒の悩みや問題について」</p> <p>A氏より  3年生の保護者アンケートで「できていない」の回答が多く出ています。生徒の悩みや問題は、学校側が適切に対応していても、保護者からすれば十分ではないと思われる面があり、評価が難しい問題です。校内での問題点の共有、管理職との連携、説明責任の流れについては構築されていることとは思いますが、事例ごとに記録し、次に生かしていけるようお願いします。</p> <p>B氏より  先生方は生徒に寄り添い、親身になって話を聞いてくださっていると思います。</p> <p>C氏より  恋愛や友人関係で悩んでいる生徒もいるので、心を開いて話を聞いてあげられる空間づくりが必要だと思います。</p>

学校評価アンケートの結果と分析 [2023年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望																																										
<p><b>VIII 高校生の服装やマナー等について</b></p> <p>Q8. 藍野高等学校生の礼儀や挨拶ならびに頭髪・服装等身だしなみはきちんとしていていると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>28+38(13+55)</td> <td>やや否定</td> <td>14(14)</td> <td>否定</td> <td>4(7)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>18+57(32+50)</td> <td>やや否定</td> <td>19(5)</td> <td>否定</td> <td>4(2)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>31+52(33+53)</td> <td>やや否定</td> <td>10(5)</td> <td>否定</td> <td>1(1)</td> </tr> </table> <p>「分析 VIII」</p> <p>全体では7割強の保護者が肯定的に捉えているが、最近3年間の推移をみると否定的な意見の割合が増加傾向にある。また、否定的な意見の割合は学年があがるにつれて増える傾向にある。教職員では肯定的な意見と否定的な意見がともに5割近くを占める。服装やマナー等に関する指導は生活指導部が中心になり全教職員で行っているが、学年や教員によって指導内容に差が出てしまい、それが保護者や生徒の不満にも結びつくという状況が以前から続いている。生徒からは学校の厳しい指導に対する不満が聞こえてくることもあるが、将来の医療従事者である自覚を促し、教職員が足並みをそろえて粘り強く指導していくことが重要である。</p> <p><b>IX 清掃や整理整頓について</b></p> <p>Q9 学校は清掃や整理整頓が行き届いていると思いますか?</p> <p style="text-align: right;">数値は%、()内は昨年度</p> <table border="0"> <tr> <td>3年</td> <td>肯定</td> <td>28+50(28+47)</td> <td>やや否定</td> <td>5(0)</td> <td>否定</td> <td>4(2)</td> </tr> <tr> <td>2年</td> <td>肯定</td> <td>34+50(39+46)</td> <td>やや否定</td> <td>5(4)</td> <td>否定</td> <td>1(1)</td> </tr> <tr> <td>1年</td> <td>肯定</td> <td>43+44(41+39)</td> <td>やや否定</td> <td>1(2)</td> <td>否定</td> <td>0(0)</td> </tr> </table> <p>「分析 IX」</p> <p>例年同様、放課後に2,3年生はホームルーム教室、1年生はホームルーム教室に加え、トイレ、体育館などの共用部分の清掃を行った。保護者アンケートの結果では、各学年とも8割近くの保護者が肯定的な回答で、否定的な回答はほとんど見られない。また、教職員も8割近くが肯定的な回答をしており、清掃・美化に対する学校での取り組みが成果をあげているものと思われる。</p>	3年	肯定	28+38(13+55)	やや否定	14(14)	否定	4(7)	2年	肯定	18+57(32+50)	やや否定	19(5)	否定	4(2)	1年	肯定	31+52(33+53)	やや否定	10(5)	否定	1(1)	3年	肯定	28+50(28+47)	やや否定	5(0)	否定	4(2)	2年	肯定	34+50(39+46)	やや否定	5(4)	否定	1(1)	1年	肯定	43+44(41+39)	やや否定	1(2)	否定	0(0)	<p>「高校生の服装やマナーについて」</p> <p><b>A氏より</b></p> <p>分析で示されているように、保護者回答の否定的な意見がやや増加する傾向にあるようです。原因、問題点も把握されているようですので、引き続き努力されることをお願いします。</p> <p><b>B氏より</b></p> <p>茨木市民の一人から、藍野高校生の身だしなみの印象から藍野病院の受診を躊躇すると言われました。高校生を将来の看護師として見る面もあり、地域の目は厳しいと思います。</p> <p><b>C氏より</b></p> <p>夏は暑いからと言って、スカートを通学途中で折り曲げて短くしている生徒を多く目にします。</p> <p>「清掃や整理整頓について」</p> <p><b>A氏より</b></p> <p>清掃の分担などシステマティックに取り組まれているようで結構かと思います。</p> <p><b>B氏より</b></p> <p>先生方も生徒と共に掃除に取り組まれています。掃除時間以外で床にゴミが落ちている教室も多いようですが、衛生面の意識付けは実習にもつながるのではないのでしょうか。</p> <p><b>C氏より</b></p> <p>体育館やトイレなど共用部分の掃除にはもう少し力を入れてほしいと思います。</p>
3年	肯定	28+38(13+55)	やや否定	14(14)	否定	4(7)																																					
2年	肯定	18+57(32+50)	やや否定	19(5)	否定	4(2)																																					
1年	肯定	31+52(33+53)	やや否定	10(5)	否定	1(1)																																					
3年	肯定	28+50(28+47)	やや否定	5(0)	否定	4(2)																																					
2年	肯定	34+50(39+46)	やや否定	5(4)	否定	1(1)																																					
1年	肯定	43+44(41+39)	やや否定	1(2)	否定	0(0)																																					

学校評価アンケートの結果と分析 [2023年6月実施 保護者アンケートを中心に]	学校評価委員からの意見・要望
<p><b>X 進路に関する指導について</b></p> <p>Q10 進路に関する指導や面接、情報提供等が十分に行われていると思いますか？ 数値は%、( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 21+43(12+47) やや否定 16(16) 否定 7(14)  2年 肯定 18+34(20+41) やや否定 14(7) 否定 6(6)  1年 肯定 20+29(19+31) やや否定 8(5) 否定 1(1)</p> <p>「分析 X」</p> <p>肯定的な回答が保護者では6割弱と少なく、アンケート項目中、肯定的な回答の割合が最も低い項目であった。ただ、否定的な回答が多いというわけではなく、「判断できない(わからない)」という回答が全体の3割近くを占めるため、進路に関係する様々な事項についての保護者に対する情報発信が十分できていないことがうかがえる。</p> <p>「衛生看護コース」においては、生徒全員が看護師を志し、その大半が卒業後、短期大学部第一看護学科に内部進学するという本校の特殊事情もあって、これまで生徒や保護者に進路関係の情報を積極的に提供する機会を設けてこなかった。このことも肯定的な割合が低いことの理由の一つであると考えられる。2020年度からは医療系大学進学を目指す「メディカルサイエンスコース」を新設したことで、医療系の専門学校や大学に関する入試情報の収集・分析にも力を入れているものの、まだまだ十分といえる状況には至っていない。保護者・生徒が必要とする情報を、速やかにかつ正確に提供できる体制づくりを目指し、努力していきたい。</p> <p><b>XI 学校行事等について</b></p> <p>Q11 生徒は学校行事や生徒会行事に満足していると思いますか？ %で表示 ( )内は昨年度</p> <p>3年 肯定 22+47(11+53) やや否定 14(20) 否定 8(11)  2年 肯定 15+50(21+58) やや否定 23(8) 否定 8(7)  1年 肯定 30+53(20+50) やや否定 5(13) 否定 1(5)</p> <p>「分析 XI」</p> <p>2021年度同様、2022年度についても新型コロナウイルス感染拡大の影響により、宿泊研修や修学旅行など一部の行事が中止となり、入学式や戴帽式などの式典も規模を縮小しての実施となった。肯定的な回答の割合は前年度と同様に約7割となっている。2022年度についてはコロナの感染状況も沈静化し、予定されていた各種行事等が実施できたことがアンケート結果に反映されたと考えられる。</p>	<p>「進路に関する指導について」</p> <p>A氏より</p> <p>従来から対応に苦慮されていることだと思います。短期大学の第一看護学科との連携がひとつのキーになると思いますが、説明会などでの協力体制は十分なのでしょうか？いろいろな組織・人事面等での問題もあるかと思いますが、やはり進学先である第一看護学科からの情報提供（学費面、その他事務手続的な面も含め）を充実させる必要があるのではないのでしょうか？</p> <p>B氏より</p> <p>短期大学部の魅力と共に実習先である藍野病院の魅力も伝わることで、将来の目標もしっかり定まるのではないのでしょうか。</p> <p>C氏より</p> <p>進路の多様化に合わせた情報提供ができるような進路指導体制を作っていただきたいと思います。</p> <p>「学校行事等について」</p> <p>A氏より</p> <p>保護者の回答からは、新型コロナの影響による学校行事等の満足度は落ち着いているのかなと思いますが、コロナ前と比較して学校行事等が十分にできていないことの影響はあるかと思えます。これもやむを得ない面もあるので、保護者に丁寧に説明するよう努めることがやはり必要でしょう。</p> <p>B氏より</p> <p>今年度はさらに多くの行事ができることになりそうなので、生徒の満足感につながると考えます。</p> <p>C氏より</p> <p>時間の確保が難しい中で、先生方も生徒もいろいろなアイデアを出し合い、協力して動いてくれていると思います。</p>